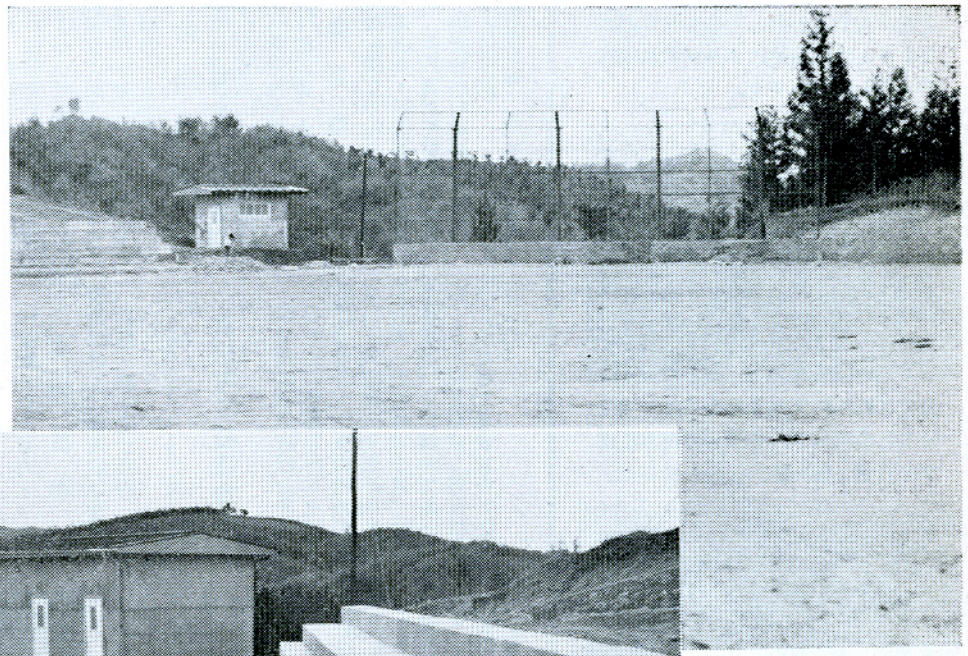
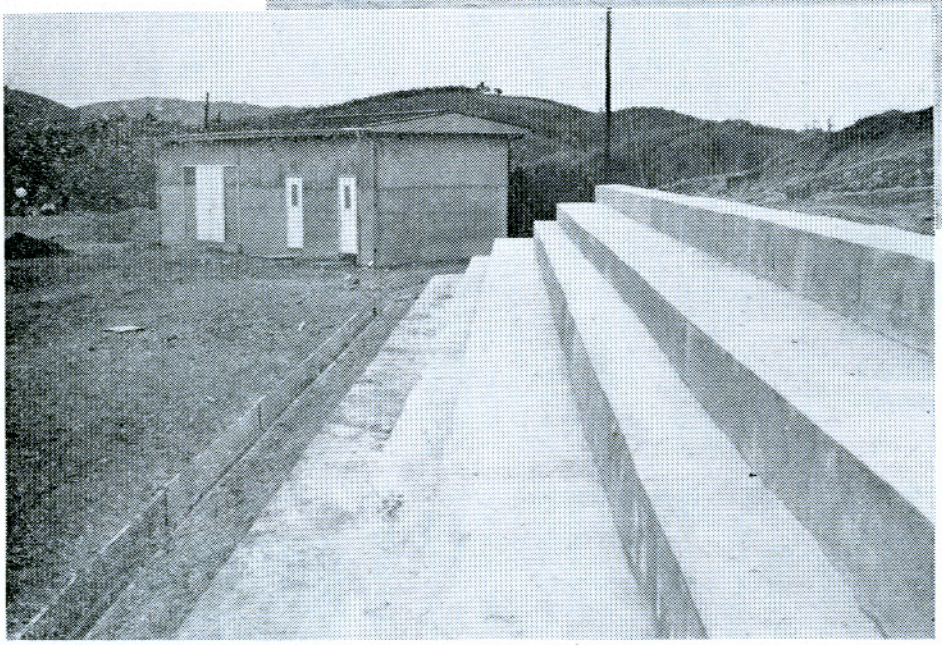
広報
さめがわ

第126号
昭和39年
5月20日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所





完成した村民運動場の諸施設

○

風かおる青葉の五月は、日本では一番さわやかな季節である。

今年は花も一時に咲き、若葉も一斉に展開して、もえ黄の期間がほとんど見られなかった。

あたたかくなれば暑いほど気温が上り、さむくなれば凍霜害を起すほどの低温がくる寒暖の開きが大きいのが、今年の気候の特徴であろうか

四月二十九日の被害で桑や苗床などに大きな打撃をうけられた農家の皆さんにお見舞申し上げます。

これからの農作物管理にも十分注意しましょう。

× × ×

5月の人口と世帯

人口	7.770	(−28)
男	3.851	(−15)
女	3.919	(−13)
世帯数	1.234	(−1)

鮫川農協第6回総会

作付から販売まで

モデル農家の育成を重点に

ながく年にわたる再建整備事業も終り運営も軌道にのってきた鮫川農協では、四月八日に三三〇名（他に委任二五〇名）の組合員が集り鮫川劇場で第六回の通常総会を開きました。

会は東野の吉田義一氏を議長に選んで進められ三十八年度の業務報告を承認したあと次のような事業計画と三億五千七百万円にのぼる総合財務計画、一千九百五十万円の総合収支計画を原案どおり承認しました。

指導事業

営農推進員の育成強化、モデル農家部落の育成、農協婦人部の整備強化、くらしの計画化運動推進、生活指導員の育成、農協だよりの発行、こんにやく生産販売態勢の確立、しいたけ生産販売部の育成、

信用事業

月取貯金の普及、定期的貯金の奨励、構造改善基盤整備のための長期資金の借入、短期資金については計画貸付とし金額に応じ低当権を設定する（手数料一般…日歩三銭二厘貯金担保…日歩二銭）

共済事業

災害時の保障を確立する長期資金の蓄積をはかる、共済掛金・月掛貯金の奨励

新契約目標　六億円

購買事業

施肥設計樹立の推進、新農機具の実演会・新農薬の使用講習会、生活資材配置購売の推進、購売貯金の奨励、購買資金の活用推進

取扱高目標　五・五五〇万円

販売事業

統制以外の農産物こんにやく等の共販態勢の確立、商品価値向上のための共同選別講習実習会の開催

取扱高目標　一億五百五十五万円

倉庫事業

保管管理技術の向上、火災盗難の予防

保管料　六十万円

運輸事業

事故の防止、計画的な運行、

収益目標　九十万円

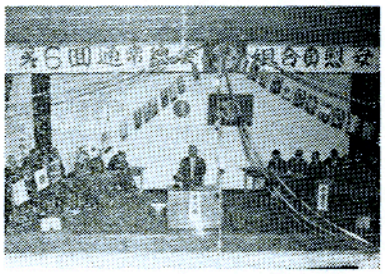
浅川町に石造倉庫

鮫川農協では昨年七月より工費五百七十余万円（土地買取費を含む）で東白建設が請負い、浅川町大明塚地内に石造倉庫（内容積五十坪、約七千俵収容）を建築中であったが、このほど完成し四月二十九日に現地で落成式を行ないました。

ブルトーザー購入

村の農業構造改善事業を推進するため各種の機械が導入される予定ですが、その第一陣として四月十日に小松D五〇スーパーブルトーザ十トンが小松製作所より購入され、農協が土地改良区と運営委託契約を結び運営されることになりました。

利用されたい方は指定地区以外の方も土地改良区（理事長青戸彦右エ門）に申しこんで下さい。

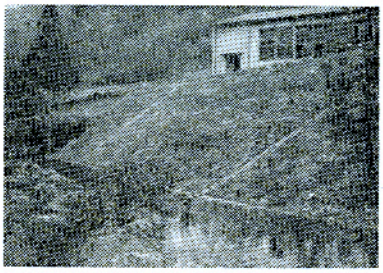


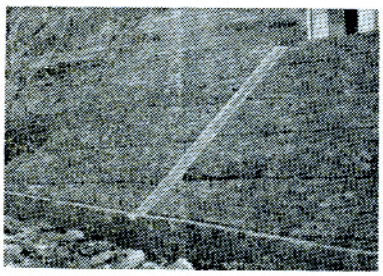
写真はあいさつする県中央会支所長

渡瀬小中の災害

みごとに復旧

渡瀬小中学校体育館下の土手が去年七月の豪雨で崩れ出し体育館の基礎に危険が及びそうになったので、村では文教災害復旧工事を県に申請、国庫補助を得て工事を行った結果写真のようにみごとに復旧しました。工費は七十二万円で、棚倉町藤田組が工事を請負ました。





新しく委嘱された農改、生改推進員

農業の近代化と生活の合理化を推進する推進員の辞令交付式が四月二十八日に青年研修所で行なわれ、これから二年間それぞれの担当区域で活躍されることになりました。新しい推進員の方は次のとおりです。◎印は会長、〇印は役員

農業改良推進員

高坂精一、緑川多気志、白坂重雄、〇北条久弥、関根正照、水野正、〇松崎清次、我妻隆、〇円井七之助、高木勝美、鈴木市悠、緑川昌美、芳賀光美、◎渡辺朗、本郷広美、中川西春美、佐藤和雄、船木彦助、〇松本源一、矢吹伝、小松幸一、蛭田康之、〇藤田好幸、赤坂貞雄、長井進一、棚井忠、森田一雄、

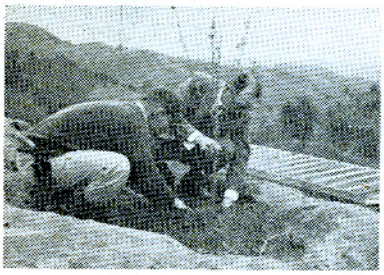
生活改良推進員

鈴木シゲ子、矢吹ミチヨ、船木シツイ、須藤美代子、吉田ハツイ、水野アキノ、関根イツ、◎緑川リウ、松崎ミツ、本郷ヨシイ、〇湯座スエ、鈴木文子、金沢ツネヨ、〇鈴木貞子、白坂タケ、森フミ子、窪木ヨシ、宗田キン、中川西セツ、鈴木キノ、国島ハルイ、鷲野谷スイ、石井政子、芳賀喜代、小松ケイ、高久稲子、蛭田ヲミツ、〇赤坂ヨシ子、新妻イエ、山形チヨ、岡部セン

村のできごと



老後の生活をたのしく豊かなものにしようと村内各地にクラブの結成が続々行われています。



完成された村民運動場を一段と美化するため議員さん方が桜の苗木数百本を寄贈、植樹祭が行われました。



湖南村の母子健康センターを視察する議員さんたちの一行。環境の条件はちがうが運営は県下一。

◀今月の納税▶

固定資産税第一期分

納期……5月25日

納付場所……

鮫川農協

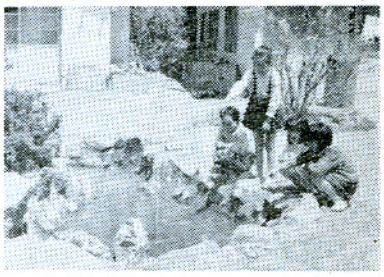
忘れず遅れず納期完納に御協力下さい。

毎月一日、十五日は全村統一農休日　みんな前つて休みましよう

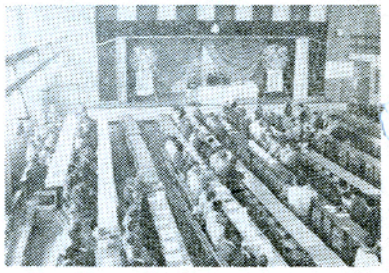
毎月一日・十五日は全村紙一農休日

みんな揃って休みましょう

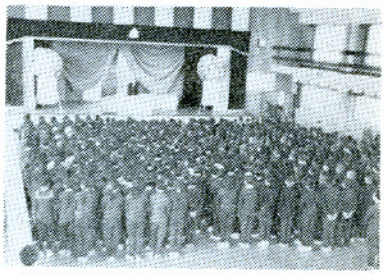
村のできごと Ⅱ



西山小学校にできた観察池。PTAが名木珍石を集めて数日がかりでつくり上げたもの。



鮫川中学校の体育館落成を祝う人たち。鉄筋コンクリート構造、ゲビオンの屋根豪華なステージ…すべて学区民を驚かせた。



鮫中生徒さんたちのために、お祝いの式が行われた。500余の全生徒は床面積の3分の1を占める程度。

お百姓の声 (10)

古老の記憶にもなかったほどの春雪が阿武隈山系を驚かしたかと思うと、四月には早くも初夏の気候が訪れ、四月二十九日には零下三・四度の凍霜害が襲来するなど、気温の振幅がはげしく、今年は農業にとつて油断のならない年のように思われます。

凍霜害対策については、それぞれ県や国に要請中ですが自主的には桑園に対する速効肥料の施用、被害苗代には病害予防などが大切な作業でありましょう。

今年は昨年の稲作被害の経験を踏んで、保温苗代の管理も十分注意されていると思いますが、苗代日数を延ばすことなく田植を早めること。必ず苗の消毒を行うこと。活着促進のための表層施肥などの励行が望まれます。

村内産業団体や指導機関の活動が一層強化されることを念願して止みません。

年度初めにあたつて各産業団体は春の総会を開き、旧年度の事業報告や新年度の計画を発表されております。

農協は四月八日に第六回通常総会を鮫川劇場を会場として開きましたが、組合員の出席も多く満員の盛況でした。

赤字を背負つて再建整備計画にとりくんだのは数年前のことでしたが、今や浅川駅頭に第二の農業倉庫を建造し、自己資本の蓄積、貯蓄額、共済契約など何れも郡内の首位を占め、いよいよ組合員の所得向上のために、農業構造改善事業の主要な担い手として前向の姿勢をとつたことは、よろこびにたえません。

また指定代理金融機関として、村の金庫の一部をお預けして、納税その他の収納、支払いの事務をお願いすることになつたのも回顧して感慨なきを得ないところです。

森林組合は新築の鮫中体育館で総会を開きましたが、農繁の折ではあるが多数の組合員が参会し、これまた盛況でした。

かつて造林補助金の一部を唯一の財源として、細々と経営してきた時代から、現在の多面的な事業の拡大、生産販売指導の各事業が軌道にのつて進んできた姿は刮目に価するところであります。

林業基本法の制定、林業構造改善計画など重要施策の行われようとしている現在、一層の活躍が期待されます。

土地改良区も先年専任技術者を設置以来事業範囲を拡大し、本村産業の基盤整備の面に重要な役割を果すようになりました。今年からは農業構造改善事業の一環として農協が設置したブルドーザーの運営管理も担当することになりましたから、事業成果は一段と期待すべきものがあると思います。

その他の村内産業団体もふくめて何れも過去の苦難時代を脱却し、躍進の途上にあるといえるわけですが、一面このことは村内産業者の理解と協力と推進力が前進したことの証左であることは申すまでもありません。当時者各位もまた自主的利益代表機関であり、組合員のための経済機関である真価を一層発揮するよう、更に組合員の理解と協力を高めていく努力が必要といえましょう。それと同時にこれら産業団体のもつ公共性というのが無視されてはなりません。即ち地域全体の総合開発に対して産業団体が力強い協力を要請されていることを強調したいのであります。

躍進する産業団体

村長 石田卯子八

議会だより

五月十二日に開かれ次の議案が議決されました。

三十八年度の構造改善事業費九百十六万余円のうち五百七十三万円は本年度に繰越されました。三十九年度補正予算で役場庁舎の補強工事費、知事選挙費等九十一万四千円が議決されました。固定資産評価審査委員に高坂尹（西野）小松操（渡瀬）の二氏が選任され、村税条例の一部を改正し（別掲参照）村民運動場（旧壇の岡グランド）の条例が制定されました。

研修視察

議員十七名と書記一名が四月二十七、八日の二日間にわたり安積郡湖南村（母子健康センター、簡易水道）と、南会津郡下郷町（農業構造改善事業）を視察しました。

固定資産の評価替

今月の納税は固定資産税第一期分ですから今年の固定資産税について前年と変つた点をお知らせします。

今年は固定資産評価基準年度に当り全国一斉に固定資産を適正な時価に評価替を行いました。これによりますと従来の評価額より高くなつているので税金も高くなるわけですが、今年は経過措置として次のような方法で固定資産税を賦課することになりました

田畑については前年の税額と同じ額に据置くことになります。宅地山林等については前年の一・一倍の税額、家屋については前年と同じ税額（新築家屋については新評価額）となります。それで、宅地山林を所有する人は前年より若干多くなりますが、その他は前年と同じであります。

次に土地についての固定資産税の免税点が二万四千円に引上げになりましたので土地評価額の合計が二万四千円未満の人には固定資産税がかかりません。

（税務課）

おめでた

三月
二九日 上耕地 千葉 彦人

四月
七日 越虫 根本 正
一二日 青生野 笹島 次雄
一三日 関口耕地 下重 正人
一三日 青生野 笹島 敏行
一五日 薄ヶ久保 高木加代子
一五日 新宿 前田 恵子
一八日 中沢 長久保浩寿
二六日 大沢 石井 健治

おくやみ

四月
一日 大戸中 82小松 ヨシ
三日 大塩 83水野 イエ
一〇日 新宿 73角田 元修
一三日 戸倉 55関根 ヨネ
二六日 戸草 68三瓶 広吉

告知版

青年会の新役員

在村青年の減少にともない活動が低調になっている村青年会では、役員の選任に困難をきたしていたがこのほど次のようにきまり、五月三日に第一回大会を開き新年度の予算と事業を決定しました

会長…関根勝義、副会長…矢吹幸一、蛭田キヨ子、事務局長…青戸良一、同次長…関根英也、星一弥
分会長…北条辰之（西野）坂本忠雄（西山）、鈴木辰男（中野）、吉田元美（東石）、鷲野谷弘行（富田）蛭田栄次（渡瀬）、森田俊一（青生野）
常任委員…白坂重男、我妻光男、宗田稔、生田目定之助、小松幸一、岡部勝正、緑川ミツイ、土手内秀子

＝予算と主な事業＝

予算…八六、二二四円
事業…広報発行、わらび座公演、体育レク大会、野球バレー大会、クリスマスパーティ、政党討論会、青年問題研究集会、卓球剣道大会、その他に県と村行事への参加協力

新しい診療所長さん



鮫川診療所に所長増山高先生が着任され五月二日より診療業務を開始しました。増山先生は日本医科大学卒業後、国立・私立の大病院に奉職され、技術、経歴共に優秀なお医者さんです。診療科目は内科、外科、小児科、産婦人科です。

婦人会の予算と事業

四月二十八日に役員総会を開き次の予算と事業計画を承認しました。

予算…七二、二八八円
事業…小グループ活動の促進、中央婦人学級開設（公民館共催）、婦人講座（リーダー養成三回）、巡回講座（二回）、政治学習、耕転機講習会（公民館共催）、村議会の傍聴、福祉施設の慰問、村行事の協力

モーニングの貸出し

村婦人会では大中小の三組を新調し料金は一回二千円ていどで、秋から貸出す予定ですので御利用下さい。

藤田さん郡婦連会長に

先月号でお知らせした富田分会長は渡辺クニ子さんに変りました。

五月六日に矢祭町青年研修所で開かれた東白川郡婦人団体連絡協議会総会にて、本村の藤田ミヨさんが会長に小室やす子（矢祭）緑川節子（塙町上石井）さんの二名が副会長に選ばれました。

役場の模様替え

役場の天井と床がいたんだため張替工事と梁の補強工事が行なわれていますので、皆様方に御不便をかけていましたが五月中に完成の予定で、六月からは新装の役場で事務をとります。



駐在所だより

村民の皆さん田植どきになりさぞお忙しいことでしょう日ごろの御協力により本年も事故らしい事故の発生がないことを心から感謝いたしますさて五月十一日から二十日までの十日間にわたり「春の交通安全運動」を実施します。

夫を妻をむじやきな子供を失なうような悲しいことはくりかえしたくないものです。村の交通対策協議会では各団体と各区の協力を得て「みんなで交通事故をなくそう」のスローガンのもとに強くこの運動を進めることになりました。皆さん方にもゆずりあいの気持で事故防止に御協力下さるようお願いいたします。

（佐藤）

郷土の伝説 (20)

「弥惣次分」の由来

中井恒雄

大字赤坂西野字大塩に「弥惣次分」と呼ぶ共有田があります。これにはこんな由来がある。

昔のことである。幾年もの連続の大凶作が続き、部落の人が全部餓死して死んでしまった。この餓死者の中に中坪部落に住む弥惣次という人がいた。弥惣次は自分が餓死するのを知りながら、籾俵を枕に死んで行ったのでした。弥惣次の遺言には「この籾（もみ）を種子に田を作って下さい。百姓として種子籾まで食つて死んだのでは、浮ばれません、どうか死に行く者の供養たと思つて聞きとどけて下さい」と書いてあった。



それからというものは、とれたモミは穀倉に積み、非常に備えておきました。そのため、その後の大凶作には、大塩からは一人の餓死者も出なかつたのです。この時には声の草やその他の部落では皆んな餓死しました。

そんなことがあつてから部落では、このあたりの田を「弥惣次分」と呼び伝いる様になりました。

（原話は大塩の水野芳光氏）

世の推移



鈴木久代

①赤坂中野字新宿②鮫川小学校③昭和八年卒④会社員⑤四人⑥三鷹市

月刊紙広報「さめかわ」は私達東京在住者には懐しさ一しほ村の様子が手にとる様に判り特に皆さんが村の発展に努力されて居り頭の下る思いです。私も村を離れてから早や三十年、歳月の流れの早いのに一驚する者です。相変らず会社員として頑張つて居りますが私達の会社でも、月刊「秀峰」を発行、企業に関するあらゆる点を載せ知らせて居り生産面では短時間に、品質良好にして多量に生産し廉価になる様研究して着々成果を収めて居ります。

此の様に村は村で、会社は会社で最善の努力をしてより良い村、又は会社を造る事は私達の任務であると思います。共々に身体に留意して頑張りましょう。現在特に私の一番感ずるのはテレビの普及です知識、娯楽、教育の面で活躍して居りますが此の様な事は昔は考えられなかつたのが現実化されて居り、世の推移と言うものは日々の研究と努力の下る思いです。私も村を離れてから早や三十年、歳月の流れの早いのに一驚する者です。相変らず会社員として頑張つて居りますが私達の会社でも、月刊「秀峰」を発行、企業に関するあらゆる点を載せ知らせて居り生産面では短時間に、品質良好にして多量に生産し廉価になる様研究して着々成果を収めて居ります。

此の様に村は村で、会社は会社で最善の努力をしてより良い村、又は会社を造る事は私達の任務であると思います。共々に身体に留意して頑張りましょう。現在特に私の一番感ずるのはテレビの普及です知識、娯楽、教育の面で活躍して居りますが此の様な事は昔は考えられなかつたのが現実化されて居り、世の推移と言うものは日々の研究と努力の下る思いです。私も村を離れてから早や三十年、歳月の流れの早いのに一驚する者です。相変らず会社員として頑張つて居りますが

①赤坂中野字新宿②鮫川小学校③昭和八年卒④会社員⑤四人⑥三鷹市

月刊紙広報「さめかわ」は私達東京在住者には懐しさ一しほ村の様子が手にとる様に判り特に皆さんが村の発展に努力されて居り頭の下る思いです。私も村を離れてから早や三十年、歳月の流れの早いのに一驚する者です。相変らず会社員として頑張つて居りますが

私達の会社でも、月刊「秀峰」を発行、企業に関するあらゆる点を載せ知らせて居り生産面では短時間に、品質良好にして多量に生産し廉価になる様研究して着々成果を収めて居ります。

此の様に村は村で、会社は会社で最善の努力をしてより良い村、又は会社を造る事は私達の任務であると思います。共々に身体に留意して頑張りましょう。現在特に私の一番感ずるのはテレビの普及です知識、娯楽、教育の面で活躍して居りますが此の様な事は昔は考えられなかつたのが現実化されて居り、世の推移と言うものは日々の研究と努力に外ありません。今や宇宙時代に進み月世界に行ける日も遠くはない事でしょう。最後に郷里の皆様の御健康と御多幸をお祈り致します。

あとがき

▽夏も近づく八十八夜……のどかな田園風景を思わせる歌が、なつかしく思いだされる昨今ですが、近代化の歩みを始めつつある農村では、耕転機がエンジンの音を高らかにひびかせながら田園を走つています。

▽耕転機、バイク、テレビ、洗濯機、冷蔵庫はては自動車まで文明が生んだ利器がどんどん入りこんで人間が機械を、機械が人間を使うのか分らなくなつてきました。ここらへんで現代に生きる人間像を考えてみたいものです。

（鈴木）